

令和3年度事業計画

1 基本方針

昨年度は、新型コロナウイルス感染症が全世界に広がり、我が国でも感染拡大が進み、社会的・経済的に極めて大きな影響が生じました。当センターに於いても昨年3月以降、雇い止めや就業の一時停止、退会者の増加等、事業運営に大きな影響が出ました。

更に、人が集う各種のイベントは中止となり、センター事業を市民にPRする機会や、会員相互の交流機会が大幅に制限されました。

さて、我が国の現状は、少子高齢化が進展し、高齢者人口が増加の一途をたどっています。

このような状況の中、高齢者が自ら培った知識や経験を活かし、働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献することを目的としたシルバー人材センターの役割や機能は、今後益々充実強化が求められるものと考えています。

今年度は、第4次中長期基本計画の初年度となります。就業先拡大を大きな柱に、新規事業の開拓、女性会員の活躍の場の拡大、IT活用等が盛り込まれています。特に新規事業では、衆議院選挙・柏市長選挙に向け、選挙公報の配布体制の構築を目指すとともに、民間企業のチラシ配布や学校校務支援事業やこどもルームの就業拡大にも取り組みます。

「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、新しい視点と改革の意識を持ち、事業計画の達成に向け取り組んでまいります。

2 事業計画

(1) センターの組織体制の強化

① 総会出席率の向上

総会出席率の向上を図るため、広報紙、各種会議等で積極的な参加を促す。

また、令和2年度総会出欠席無回答者には、通知文の送付と電話連絡により参加を呼びかけ、委任状及び議決権行使書の提出を含め、85%以上の出席率を目標とする。

② 地域班機能の見直し

コロナ禍に於ける地域班活動では、人が集まることに制約があるため、書面や電話、メール等様々な手段を使い、新しい班活

動の推進を図る。

また、配布事業を推進するためには、地域班組織の活用が必要不可欠であることから、従来の地域班活動である情報交換・共有に新たな事業の体制作りを加えたものとする。

③ 地域班役員の活性化

改正された地域班設置要綱を周知し、役員交代の体制作りを推進する。

委嘱状には任期満了日を明記することで交代時期を認識し、前広に交代準備を行う。

また、少人数地域班の設立マニュアルや、地区長・班長・副班長の任務をマニュアル化し、誰が役員を担当しても運営できる仕組みを構築する。

④ 未就業相談会の開催

未就業会員の解消を図るために、毎月1回（最終水曜日）を未就業相談日とする。

また、地区別の出張未就業相談会を実施する。

⑤ 職群班活動の推進

職群班毎の自主的な活動を促進し、定期的な職群班会議、講習会及び研修会を通じ、事業拡大並びに会員相互の連携、情報の共有化を図る。

職群班会議

パソコン班6回、除草班4回、駐輪場班4回、植木班10回の会議をそれぞれ開催する。

職群班講習会及び研修会

除草班：刈払機講習会（1回）、駐輪場班：接遇研修会（1回）、福祉・家事援助サービス班：接遇研修会（2回）、植木班：剪定講習会（2回）

⑥ IT化の推進

業務の効率化を図るため、NRI社会情報システムや他市シルバー人材センターと連携を図り、IT化の推進に向けた検討を行う。

（2）事務局体制の強化

① 事務局組織の強化

事業規模に則した適正な人員配置計画のスケジュール化を図る。

②他市センターの情報収集

東葛地区シルバー人材センター連絡会議や県内7市シルバー人材センター意見交換会等に参加し、各シルバー人材センターと連携を保ち、情報収集に努める。

また、先進的な取り組みを行っているシルバー人材センターの情報収集を行うため、専門部会と職員の視察研修を実施する。

③会員と役員・事務局職員の連携強化

地域班や理事会等の活動を通じ、意見交換の場を設け、会員と役員・事務局職員との意思統一を図り、連携強化に繋げる。

④専門部会の所管事項の整理及び再編

事業推進の効率化を図るため、所管事項が重なる専門部会のあり方について検討する。

(3) 会員の拡充と広報の充実

①会員の拡大

前年度末会員数の50名増を目標とし、新たに作成した入会促進のポスターを町内会掲示板等に掲示するとともに、ホームページには入会説明会開催日時を適宜掲載し、新入会員の確保に努める。

また、女性限定の入会説明会を2回開催し、女性会員の拡大を図る。

②ホームページの掲載内容の充実

入会動機に繋がる情報を掲載する。

また、既存会員にはセンターの現状を理解し易いよう内容の充実を図る。

③広報DVDの制作

入会説明会で活用しているDVDは、現状に見合った内容にリニューアルするよう検討する。

④広報紙「ゆずりは」と「柏シルバーだより」の掲載内容の充実

広報紙「ゆずりは」は、センター事業を支える会員のための会報誌であるため、会員の交流の場としての役割を常に念頭に置

き、地域班活動や会員の紹介、センターの現況に関する情報等を適切に伝えるため、年4回の発行を行う。

「柏シルバーだより」は、広報紙「ゆずりは」の間隙を埋め、情報提供頻度を高めるため、年8回発行する。特に、地域班活動の活性化に尽力されている地区長、班長及び副班長を対象に、“柏シルバーの今”について、速報をもってお知らせすることを主眼として作成する。

⑤ 研修計画の策定と研修メニューの開発

発注者からの声や会員からの研修ニーズを把握し、研修内容を検討する。

(4) 就業機会の確保・拡大

① 新規就業先の拡大

ジョブコーディネーターによる新規顧客の訪問の目標を1人月1社以上とし、新たな就業先の拡大を図る。

また、柏市と連携し、選挙公報の配布業務受注に向けた協議を行う。

更に、役員及び専門部会員による個人宅へのチラシ配布や、ジョブコーディネーターによるリーフレット等のポスティング、大手コンビニ店舗への配架等を行い、受注拡大に繋げる。

② 家事援助サービス事業の推進

家事援助就業者の訪問や家事援助就業会員を対象とした女性交流会を通じて情報収集に努め、その情報を広報紙等で発信し、事業を推進するための環境作りを推進する。

③ 請負・委任及び派遣事業の拡充

新たな職種の受注拡大に努め、請負・委任契約金額は750,000千円、派遣契約金額は106,000千円を目標とする。

④ 独自事業の充実

空き家管理・お墓掃除サービスの既存事業は、受注獲得のための問題点抽出とニーズ開拓のための施策検討を行う。

シルバー学び隊事業は、既存事業の円滑な運営及び拡大に注力し、事業展開のサポートを行う。

また、新たな事業として社会的ニーズの高い事業を抽出し、事業化の可能性を検討する。

⑤ 新規事業の推進

10月の衆議院選挙、11月の柏市長選挙を目標に選挙公報の配布体制の構築を目指すとともに、民間企業のチラシ配布業

務、学校校務支援業務、こどもルームの就業等の拡大に努める。

⑥ 顧客満足度の向上

ジョブコーディネーターの巡回により、就業状況の把握に努める。

また、苦情やトラブル等の発生時は、発注者からの信頼を損なわないよう迅速な対応に努める。

⑦ 計画的な発注者訪問

大口契約先への年間訪問リストを作成し、計画的な訪問を行う。

また、訪問時には、追加的ニーズを含めた発注者からの要望等の情報収集にも努め、就業機会の拡大に繋げる。

⑧ 適正就業の推進

新規受注の際は、「適正就業の自主点検表」を活用し、会員が安心・安全な就業が行える適正な就業環境を確保する。

また、新規就業会員に対しては、誓約書の提出を求め、誠実な就業の履行と安全意識の向上を図る。

(5) 安全管理の推進

① 安全委員会の機能強化

安全委員会を年6回開催し、発生した事故の原因を検証し、「ゆずりは」や「シルバーだより」等を通じて、改善策を全会員に周知する。

更に、入会説明会や新入会員研修に於いて、安全就業の周知徹底やジョブコーディネーターによる就業紹介時の注意喚起により事故の未然防止を図る。

② 安全パトロールの実施

安全パトロールを12回実施し、就業場所の作業環境や作業実態を確認し、必要な安全指導を行い、事故防止に努める。

③ 事故の削減

安全研修を年4回開催し、会員の安全就業への意識向上を図る。

また、自転車による転倒事故が増加していることから、高齢者の交通事故防止に関する講座を実施する。

更に、安全就業に不安のある会員には、安全研修を実施し、発生事故件数を前年度比25%削減する。

④健康診断書の提出

会員の健康管理を促進し、健康で活力ある就業を継続していくため、年1回の健康診断受診と健康診断書（写）の提出を呼びかけ、提出率100%を目指す。

（6）経営及び事業運営の基盤整備

①経営視点での事業運営

事業運営の安定化を図るため、補助金や受注拡大による事務費収入の安定的な確保に努めるとともに、就業内容に応じた配分金単価の適正化を行う。

②イベントの開催

新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、センター主催のイベントの開催を検討する。

（7）地域社会への貢献

①地域イベントへの積極的な参加

地域の夏祭りやボランティア活動等に積極的に参加し、会員の拡大とセンターのPRを目的とした活動を行う。

②地域貢献

柏市、柏商工会議所、東京大学高齢者社会総合研究機構等と会員の就業やセミナー等の様々な機会を通じて連携を深め、地域社会への貢献に努める。

③会員と市民、会員相互の交流推進

会員と市民や会員相互の交流・親睦を深めるため、シルバーサロンを開催する。

また、女性会員同士の情報交換を深めて、繋がりの強化と活躍の場を広げるため、女性会員交流会を4回開催する。